

平成21年度 研究計画ワークショップ
(レジリアンスプロジェクト第8回ワークショップ)

日時： 平成 21 年 6 月 6 日（土） 9:30 - 17:00
場所： 総合地球環境学研究所 セミナー室 3・4
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4
Tel. 075-707-2206（宮寄）

6 月 6 日（土） 09:30-17:00

9:30-10:00 受付

10:00-10:15 開会の挨拶
レジリアンスプロジェクトの今後の重点課題
梅津 千恵子（総合地球環境学研究所）

平成 21 年度の研究計画（司会 梅津）

10:15-10:45 テーマ I 環境変動下での人間活動と生態レジリアンス
真常 仁志（京都大学大学院農学研究科）
10:45-11:15 テーマ II 不確実な環境に対する世帯とコミュニティーの対応
櫻井 武司（一橋大学経済研究所）
11:15-11:45 テーマ III 脆弱性増大のポリティカル・エコロジーとレジリアンス
島田 周平（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
（代理発表 梅津 千恵子）
11:45-12:15 テーマ IV 社会-生態システムに対する統合解析
吉村 充則（(財) リモート・センシング技術センター）

12:15-13:45 昼食/コアメンバー会議
（注：昼食は各自ご用意ください。）

個別研究計画発表（司会 真常）（発表 10 分、質疑 5 分）

13:45-14:00 インドタミルナドゥの津波被害からの回復
久米 崇（総合地球環境学研究所）
14:00-14:15 テーマ I-2 生態レジリアンスと人間活動の相互関係
宮寄 英寿（総合地球環境学研究所）
14:15-14:30 カリバ湖周辺におけるグエンベトンガの家畜放牧をめぐる諸問題
岡本 雅博（総合地球環境学研究所）
山下 恵（学校法人 近畿測量専門学校）

- 14:30-14:45 早ばつに対する世帯生産のレジリアンスと5才以下の栄養状態の決定要因
Thamana Lekprichakul (総合地球環境学研究所)
(代理発表 梅津 千恵子)
- 14:45-15:00 プロジェクトのデータと研究の統合に向けて (仮題)
梅津 千恵子 (総合地球環境学研究所)
- 15:00-15:45 総合討論
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:00 講演 (司会 吉村)
カルトグラムによる空間情報の視覚化
井上 亮 (東京大学大学院工学系研究科)
- 17:00 閉会
- 18:00-20:00 懇親会

講演要旨

「カルトグラムによる空間情報の視覚化」

東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻

井上 亮

カルトグラムとは、空間情報の属性値の大小を、地図上の距離の長短や面積の広狭で表現するよう地理的な地点配置や地域形状を変形した地図で、空間情報の空間的偏在や時間的変遷を印象的に表現できる視覚化手法である。この新しい作成法について説明した後、交通利便性や人口などの空間情報に対する適用例を示す。